

<研究名称>

帯状疱疹の統計学的解析：後方視野的観察研究

<研究申請者>

皮膚科 木ノ内 基史

<研究期間>

倫理委員会承認日から

<研究の目的・意義>

帯状疱疹患者のほとんどは、合併症もなく軽快することが多いが、5～20%の患者は、皮疹軽快後も神経痛をはじめとする合併症に悩まされる。合併症による社会的損失、患者の経済的・精神的な負担は大きく、心不全、糖尿病に匹敵あるいはそれ以上と言われている。本研究においては合併症と関連する因子を解析することにより、早期にハイリスク患者を特定することを目的とする。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

本研究は、後方視野的観察研究であり患者への危険性はない。2010年10月以降に当科で帯状疱疹と診断した患者について、電子カルテ上で検索を行い、年齢、性別、発症から受診までの期間、皮疹の部位、重症度、治療内容、合併症の発症、治療期間など通常の診療で得られる情報を収集して解析を行う。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 皮膚科 部長 木ノ内 基史

実施者 皮膚科 部長 木ノ内 基史

皮膚科 医師 菅原 基史

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし。情報は患者個々ではなく、グループとして公表され臨床データ、臨床写真、特定の日付に関連する情報など、患者の特定につながるものは公表されない。

<ICのための説明・同意に関すること>

本研究は「臨床研究に関連する倫理指針」において、その適用範囲外（第1基本的考え方：2適応範囲（1）③）に該当しており、また侵襲性を伴う試料採取を実施しておらず、さらに公表においては連結不可能匿名化情報に限っていることから、インフォームド・コンセントの取得は必ずしも必要としない。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 皮膚科 木ノ内 基史

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648